

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 6月 15日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市水口町泉1259
氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
セキスイボード株式会社
代表取締役社長 原 祐司
第25条第3項 ← 第25条第4項
第27条第1項 ← 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	セキスイボード株式会社 代表取締役社長 原 祐司
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市水口町泉1259

1 事業所の概要

事業所の名称	セキスイボード株式会社 水口事業所								
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町泉1259								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	1	2	9	※ 産業分類・細分類名称を記載			
事業の概要	セキスイハイムの外壁製造								
従業員の数	208 人			操業時間		9時間／日			
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	8	台	熱源設備	14	台	照明設備	748	台
	コンプレッサ	17	台	空気調和設備	18	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2022 年度	報告対象年度	2023 年度
	終了 年度	2023 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

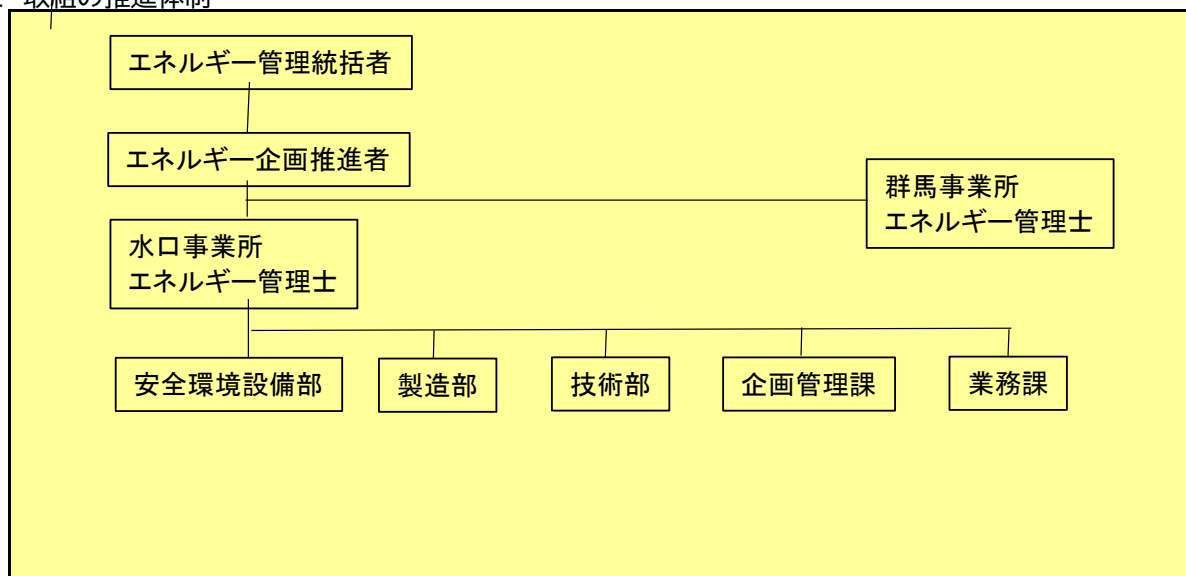
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

積水化学グループ環境経営方針に基づき、環境保護が重要課題の一つであることを認識し、資源の有効利用、生物多様性及び生態系等の環境負荷低減を通して、循環型社会の構築に貢献します。

- 1.当社における外壁材の生産・流通・廃棄の各工程において環境に与える規模及び環境影響を的確に把握し環境負荷の低減と汚染防止に努めます。
- 2.関連する法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 3.廃棄物削減・リサイクルを進め、ゼロエミッション向上を継続します。
- 4.省エネルギー、エネルギー使用合理化を徹底し、GHG削減による地球温暖化の防止に寄与します。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・空調機更新
- ・設備稼働向上や生産タクト変更
- ・電気を再生可能エネルギーに変更
- ・LED化推進
- ・チラーの更新

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	ポイント改善	使用している電気を再生可能エネルギーに変更	21/8～	21/8～実施中
2	設備導入	製造ライン空調機更新	22/1～	22/1～実施中
3	設備導入	製造ライン空調機フロンを事前冷媒化に変更し消費電力削減	22/1～	22/1～実施中
4	ポイント改善	生産プロセス改善による生産性向上	17/6～	22/3～実施中
5	設備導入	チラー更新	24/3～	23/4～実施中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記の取組等により、H23年度を基準年度とし、以下の数値削減目標の達成を目指します。 原単位 = 温室効果ガス排出量 / 生産量 で毎年1%以上削減 なお、原単位の考え方は次のとおりです。 温室効果ガス排出量は製品の生産量に大きく影響を受けるため、生産量を原単位の指標(分母)とし設定しました。なお、実績を目標と適切に対比させるため、計画期間中の各年度の温室効果ガス排出量の算定に当たっては、CO₂排出係数は基準年度係数に固定して算定します。	CO₂発生量においては17年BMの3.46kg/mを1.60kg/m²と大幅に削減

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	3,719	3,834	4,145	3,987	1,720	3,176
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	7,664	7,230	7,409	7,193	3,166	2,497
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	7,664	7,230	7,409	7,193	3,166	2,497
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		3.42	3.42	3.29	3.55	2.10	1.52

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	1,000 kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績	売却のみでの活用				

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(19)年度	(20)年度	(21)年度	(22)年度	(23)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	1,180	1,094	1,126	958	1,076	1,429
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0	0	0	0

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台						
上記のうち 次世代自動車等の 数	台						
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				